

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこゝろ、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

平成30年1月のHPきごころ通信 (先月の話題)

再配達の利用 8割超 宅配ロッカー、4割が希望 内閣府調査

- ・内閣府は、宅配便の再配達問題に関する初の世論調査結果を発表。
- ・直近1年間で再配達を利用したことがある人は83.6%。宅配便の約2割が再配達。
- ・宅配ロッカーが自宅や職場周辺に設置された場合「利用したい」は42.9%。
- ・「コンビニなどでの受け取り促進」が46.8%、「自宅用の宅配ボックスの設置促進」が42.4%。

(2017年12月17日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

マンション販売 好調続く 近畿圏の11月 契約率77%

- ・11月の近畿圏のマンション市場動向は、契約率が前年同月比2.3ポイント上昇の77.7%。11カ月連続で好不調の目安とされる7割を超えています。
- ・契約率は、新規発売物件に占める契約戸数の割合。大阪市部で91.5%、神戸市部も77.9%。11月の首都圏の契約率は67.9%。
- ・発売戸数は1582戸で前年同月から19.9%減。2016年は11～12月の発売がともに1900戸台と多くありましたが、2017年は9月に2000戸超の大量供給があり、秋冬の発売が前倒しになったようです。
- ・1m²あたり単価は、4.8%下落の59.6万円と6カ月ぶりに前年同月を下回りました。大阪市内のタワーマンション(20階以上)の供給が前年同月比8割減り単価を押し下げました。

(2017年12月15日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

あおり運転「一発免停」も 警察庁指示

点数累積なしで適用

- ・警察庁は、車を使って暴行事件を起こすなどして将来的に事故を発生させる可能性があるとして判断した運転者に対し、交通違反による点数の累積がなくても最長180日間の免許停止ができる道交法の規定を適用するよう全国の警察に指示しました。

(2017年12月17日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこゝろ、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。



大切なコート 手入れで長持ち ホコリ・皮脂 ブラシでサッ 帰宅後すぐにハンガー掛けて 高級素材ほどこまめなケアを

- ・コートを長持ちさせるには、着ている時から注意が必要です。電車内で座る時は、無駄な摩擦を防ぐために、体をゆすったり押し付けたりしません。暖房が効いて汗をかきそうなら面倒がらずに短時間でも脱ぎます。
- ・摩擦を防ぐためには、サイズも重要です。小さめで生地が突っ張った状態だと、摩耗しやすく毛玉にもなりやすくなります。
- ・雨や雪が付いていたら、柔らかいタオルなどで拭きとります。しばらく風通しの良い場所に吊るして湿気を飛ばします。
- ・ハンガーは肩幅に合った厚みのあるものを選ぶと形崩れしにくくなります。金属製よりも吸湿性の高い木製がおすすめです。
- ・ブラシ掛けは、ハンガーに吊るしたまま毛並みに沿って上から下へが基本です。着用後、毎回かけるのが望ましいでしょう。かばんや肩掛けが当たる部分などは丁寧に。ポケットの縁や内部、襟裏、首回り、袖口など肌や手に触れる部分は皮脂が付きやすいので入念に掛けます。
- ・シーズン終了後はクリーニング店へ。一度着ただけでも首回りなどに皮脂が付着し、時間がたつと黄ばんで落ちにくくなります。
- ・クリーニング店から戻ってきたら、ビニールカバーを必ず外します。そのままと溶剤のにおいが付いたり、湿気でカビになったりします。
- ・クローゼットはぎゅうぎゅうにせず、ゆとりを持たせハンガーにかけてしまいます。時々開け放して空気を入れ替えるとカビ防止になります。保管時は光に当てないように。
- ・2, 3着用して順番に休ませるのも長持ちさせる秘訣です。
(2017年12月16日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



猫、犬より人気だニャ 推定飼育数 初の逆転

手間少なめ、ブームも追い風

- ・ペットフード協会は、2017年の全国犬猫飼育実態調査で、猫の推定飼育数が1994年の調査開始以来初めて、犬を上回ったと発表しました。
- ・飼育数は犬が892万匹、猫が962万6千匹。犬は2014年に971万3千匹でしたが、3年連続で減少。一方の猫は900万匹台でほぼ横ばいに推移。
(2017年12月25日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。



カード決済 海外先行、韓国は9割

- ・世界ではキャッシュレス化が進んでいます。韓国は民間消費支出に占めるカード決済の比率が約9割。シンガポールなども5割を超えます。
- ・日本でもキャッシュレス化は拡大しつつありますが、なお2割と海外に比べ遅れています。
- ・日本国内で実施したアンケート調査では、キャッシュレス社会に「賛成」と答えたのは49%で、「反対」は51%。
- ・女性の62%がキャッシュレス社会に「反対」。男性も41%が反対しています。
(2017年12月19日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



「まち」集約 市区の5割 交通再編し居住誘導

- ・全国の市区の約5割がコンパクトシティなどで居住地や都市機能の集約を計画・検討。
- ・まちを集約するのは、①財政難の中、校外の道路などの維持にかかるコストを減らせる。②山間部では通院や買い物がままならないお年寄りも公共交通が充実した街中なら暮らしやすい。などが理由。
- ・「計画を策定済み」が15%、「計画を準備中」は23%、「検討中」が14%と、何らかの形で集約を進める市区は52%に上りました。

※コンパクトシティ 357都市が推進

- ・住宅や商業施設、交通機関、公共施設などの都市機能を中心市街地集約する都市計画の総称。市町は立地適正化計画でまず病院や役所、商業施設などを集める区域と、住宅を誘導する区域を設定します。
- ・立地適正化計画の公表は、2016年2月の大阪府箕面市が第1号。2017年7月末現在で112都市が同計画を公表済みです。
(2017年12月26日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



国内建設受注11月17%増 日本建設業連合会

- ・日本建設業連合会が発表した11月の国内建設受注額(96社)は、前年同月比17.6%増の1兆1406億円で、2カ月連続のプラスでした。
- ・民間、官公庁からの発注はそれぞれ19.5%、11.0%ずつ増えました。
(2017年12月27日 日本経済新聞記事から抜粋引用)